

校長室だより

令和2年6月25日 No14

大田区立入新井第五小学校

校長 岡野 範 嗣

●●●● 小黒教育長先生が、子どもたちを見に来てくださいました ●●●●

今日の午前中、大田区教育委員会教育長 小黒仁史先生が、学校再開に伴う現場の様子を把握するために、わざわざお越しくださいました。4～6年生の授業と、1～3年生の休み時間の様子をご覧になりました。ちょうど4年2組の授業を見ているときに休み時間になったのですが、担任の先生の雨の日の教室での過ごし方について、集中して聞いている子どもたちの様子を見て、首を縦に振りながら感心していらっしゃいました。わたくしたち管理職としても、コロナウイルス対応における本校の取り組みや、苦慮している点についてお話を聞いていただけたことが大変ありがたかったです。



昨日は、洗足池小学校をご覧になられたようで、学校規模や教室・施設の状況の違いにより、その対応や問題点もさまざまであることを感じておられました。今後、第2波、第3波が来ることを想定し、何に力を入れるべきか、いろいろなお考えを整理させているようでした。最後に、入五小の子どもたち、先生方をほめていただきありがとうございました。

●●●● なんてだろう・・・なんてだろう・・・知りたいな・・・しらべてみよう ●●●●



梅雨の季節は、アジサイがとてもきれいです。鉢植えにしてあるものもあれば、町の駐車場の隅でひっそり花を咲かせているものもあります。そんなアジサイですが、よく私たちが目にする、左の写真のような、メロンパン型のアジサイは、実は、下の写真のガクアジサイ（額あじさい）を観賞用に栽培種として育てたものなのです。したがって、ガクアジサイが原種で、メロンパン型アジサイの元祖なのだそうです。

また、これは多くの方がご存じかもしれませんが、アジサイは濃い紫・青・白・ピンクなど、さまざまな色があります。これは、根元の土の酸度が高いと紫や青に、土のアルカリが強いと白ピンク・濃いピンク色になるのだそうです。（品種により色の違いがあるものもありますが。）さらに、あじさいは漢字で書くと「紫陽花」と書くなど、アジサイ一つとっても、「へーっ！ そうなんだっ・・・」ということが、たくさんあるの



です。クイズ番組は、自分が受け身でいてもたくさんのことを教えてくれます。しかし、私が子どもたちに身に付けてほしいことは、表題にもあるように、まず「なんでだろう？」という疑問をたくさんもつ子に育ててほしいのです。次に、疑問に思ったことに対し、「知りたいな」という知的な興奮を自分自身に起こしてほしいのです。最後に、知りたい気持ちをそのままにせず、「調べてみよう」という意欲をもって、しっかり解決させてほしいのです。先生や友達に聞いてしまうのは、早く解決するためにはよい方法なのですが、自分に大切な力をつけるためには、あまり望ましいとは言えません。今は、私の学生の頃のように、面倒な辞書を引かなくとも、ICT機器を使いこなせば、即時に解決できることがたくさんあります。検索をかければ、解決すると同時に、また新たな疑問が生まれ、そこからさらに広げて調べていく楽しみもあります。これからは、いかに先進的な技術を使いこなす能力があるかが問われる時代ともいえます。「なんでだろう」と感じる好奇心、「知りたいな」と感じる探求心、「調べてみよう」という向学心。小さなころから身に付けさせたい、大切な力ですね。

●●●● 学校を陰から支えてくださる地域教育連絡協議会がスタート ●●●●

今年度も、学校と子どもたちを陰から支えてくださる、地域教育連絡協議会がスタートしました。コロナウイルス蔓延のため、いつもより出出しが遅くなってしまいましたが、8名の委員の方々に、こころよくお引き受けいただきました。行事や学校公開など様々な場面で、学校の様子をご覧いただき、より良い学校にするためのアドバイスをいただきたいと思っております。



●●●● 来週29日（月）から、通常授業（午後授業あり）になります ●●●●

いよいよ、来週月曜日から、午後授業を含む通常授業となります。時間割等については、各担任より、子どもたちに伝えますので、少しずつ、自分で準備ができるように、お声掛けください。下校時刻は、4月当初にお配りした日課表のとおりです。（※日課表が見当たらない方もおられると思いますので、明日、金曜日に再度、配布いたしますのでご確認ください。）高学年などは、週半ばから少々疲れが出るかもしれません。早寝・早起きについても、お子さんにお話してください。